

高麗人参の研究促進

崇城大と韓国の大学が協定

崇城大（熊本市西区）は5日、韓国安城市の韓京大と高麗人参の効果などについて共同研究するため、大学間交流協定を締結した。

安城市は韓国有数の高麗人参産地で、代理店となっている熊本市の菓子メーカーが仲介した。両大は具体的な効果の確認を進め、医薬品などへの応用を目指す。

調印式では、崇城大の中山峰男学長が「学生の交流にもつなげたい」、韓京大のイム・テヒ総長が「崇城大のほかの研究と組み合わせることで、がん治療などにもつながってほしい」と、それぞれ話した。

（山口尚久）



協定に調印し握手を交わす崇城大の中山峰男学長（右）と韓京大のイム・テヒ総長。5日、熊本市西区